

道標ない旅

自分も人も大切に
～思いやり
・チャレンジ
・しなやかな心～



令和4年度 第13号
2022. 7. 8発行
葉山町立長柄小学校
校長 益田孝彦
Tel. 046-875-6860
Fax. 046-876-0682

<http://www.town.hayama.lg.jp/nagae>

◆◆ 児童をまもっている備蓄品の入れ替えを完了し、各家庭に今までの物を返却します。 ◆◆



7月1日に新規防災備蓄品が無事搬入されました。おかゆの期限は、「2023.8.22」ということで、次年度の返却時もしっかり期限があり、活躍する非常食となってくれるはずですよ。

今までまもってくれていた非常食（おかゆとお水）については、学年だより等で伝えられる方法で皆様に返却いたします。児童と防

災について話題にしながら食べるなどして、防災上の食料ストックとしてその役目を果たしたことに気づくようなご指導をしていただけると、大変助かります。

◆◆ 6年生緊急保護者会を6月30日に行いました。 ◆◆

個人面談等を通して、LINEのやりとりなどに悩みを抱えている児童がいることが判明したので、早期解決を進めるため、保護者の方々と、状況や課題を共有するためにお集まりいただきました。急なお願いにもかかわらず学年の1/3を超す保護者の方々のご参加を頂きました。ここでは、校長としてお話しした内容をまとめて紹介いたします。

本日6時間目、6年生の学年集会そして、クラスごとに分かれて、自分のクラスの現状にあった児童同士の話し合いや、どうすべきかを考える学び合いを見学しました。良かったのは児童が真剣に問題に向き合おうとする姿勢が感じられたことです。

多くの子どもたちが心より欲しいなと願っているものに、物であればスマホがあります。スマホを持たせてもらえることが、大人になった勲章のようにも感じているからですし、実際スマホがあれば享受できる様々な仕組みやサービスに期待や魅力を間違いなく感じているからです。実際、スマホを所有すること自体は何ら悪いこととは言えません。それでも、スマホの有害性が叫ばれるのは、児童自身がスマホの正しい使い方を理解していなかったり、スマホの怖さをしっかり理解していなかったりすることによります。スマホのゲーム等で人生を台無しにした例からきちんと学んでいたり、不用意にのせた画像や個人情報から勝手にストーカーが生まれ、幸せな人生を失った悲しい事実の例からきちんと学んだり、スマホがいじめに使われ自殺にまで追い込まれた事例から、スマホを使う者の心がけを正しく学ばなければ、幸せなツールにならないことを学ばなければなりません。与える親も、持つことになる児童も責任が持てない限り、簡単に与えたり所持したりする物ではないのです。

学校が望むことは、正しく学んで、スマホの便利さを安心して享受できる賢さを身に付けて欲しいことです。学校でもスマホ教室等を企画していきますが、保護者の皆様のご理解と力添えが必要です。LINEという仕組みも大変便利な連絡機能です。今度、いつか再び立ち上がるであろうLINEが、「自分も人も大切に」～おもいやりチャレンジ しなやかな心～を実現する素敵な物になることを期待しています。

(イラスト AC より)



◆◆ 7月2日(土)、PTA ビーチクリーンに参加してきました。 ◆◆



前日の1日に「海開き」した森戸海岸。10時半～11時半頃までのクリーン活動でしたが、海岸にパラソルやビーチマット等を広げてくつろいでいる海水浴客さんに、活動を見てもらうことが出来たことは、良かったと感じています。海開き直後ということもあり、砂浜のゴミは少なかったですが、森戸川河口付近には流れてきたゴミが数多くあり、それなりの量のゴミを集めることが出来ました。今回の活動は、公益財団法人かながわ海岸美化財団に報告され、活動内容をHP上で確認することができるようになります。次回は、12月の第1土曜日とのことです。気持ちが爽やかになる素敵な活動です。リラックスの一環で参加してみたいはいかがでしょうか？

◆◆ 7月3日(日)、社会福祉協議会が主催する、長柄地区の防災学習会に参加してきました。 ◆◆

この地域の地勢的な要因から、起こりやすい土砂崩れや土石流災害等の学習をしました。傾斜地の下側にある宅地造成地が、どんなリスクにさらされているか、大雨が続き雨水が土中に蓄えられてしまうとリスクが高まること、普段から雨水が流れている痕跡がある場所もリスクが高いこと、広葉樹の大木が傾斜地で斜めになっている場合もリスクにつながっていることなどを学びました。この学習会は、あと2回ほど実施するそうです。ご興味のある方は聞いてみてはいかがでしょうか。



◆◆ 2学期放課後サポート教室の参加希望者の募集を開始します。 ◆◆

自ら参加する意志のある児童に限ることを参加資格に、学習に困り感のあるお子様や、学習支援が手助けとなるお子様に、学校での学習生活にゆとりをもつための機会を設ける目的で始まったサポート学習教室。この1学期の様子を見てみると、参加者は意欲的に取り組んでおり、目的を大いに達成している感があります。児童のためになるサポート教室を開けていることに、大きな意義を感じております。

2学期になると、つるべ落としと言われるように、急に日が短くなり、暗くなる帰るには、お迎えが必須となります。その上で、9月6日(火)～12月20日(火)の期間の参加者募集を開始します。

参加体制を7月20日までに決定・通知する予定なので、申込締め切り日は7月13日(水)となっています。希望のある方は間に合うよう申込書を担任にご提出ください。

◆◆ 熱中症はもちろんのこと、コロナウイルス感染症の再拡大にも、ご留意ください。 ◆◆

学校はその主軸を熱中症対策に舵を切っていますが、その隙間を縫ってかのように、新型コロナウイルス感染が再燃してきているように感じています。全国的な傾向のようですが、本校においても、ご家族の感染の連絡が相次ぐようになっていきます。

実際に罹った大人の方々は「結構きつかった。大変だった。」と感想を持つ方も多いのも事実です。「人混みや、飲食時」のリスクを心のどこかにケアしながら、実際には熱中症にならないための具体策をとりながら、感染から身を守って過ごして欲しいと願います。

◇◇ この夏休み、水難事故や交通事故に十分注意していきましょう。 ◇◇
(イラスト AC より)



この2～3年、児童はもちろん、社会全体としても、コロナ禍の影響を受けたことで、留意すべきことがあります。一つは、水難事故の危険性が増していることです。児童の泳力が落ちている可能性もありますし、しばらく水辺から離れた生活をしてきたことで、川や海の怖さへの理解が不足していることがあげられます。教師から伝えるべき怖さへの注意喚起も、声かけの総量として足りていない部分があるからです。学校としても夏季休業前に今年度は各担任に十分指導してもらう予定ですが、各ご家庭のご指導もお願い申し上げます。

もう一つは、交通事故のリスクも高まっていることです。葉山の海も久々の海開きで賑わいを見せ始めています。裏を返せば、葉山になれていない海水浴客の車等が、今夏は沢山訪れることになるわけです。渋滞を避けて、生活道である裏道を利用する車輛も増大することになります。今まで大丈夫と感じながら遊んでいた児童の感覚では、交通事故に巻き込まれてしまう可能性が高まっているのです。こちらもご家庭でのご指導をお願いしたいと思っております。

◇◇ お子様の「心のケア」もお願いいたします。 ◇◇

夏季休業中、友達やクラスから離れての生活は、毎日登校していた日常とは異なり、リラックスできたり自由な時間が持てる反面、級友から離れているという心の隙間を感じる児童もいることでしょうか。そんな時に、きっかけとなるいじめを感じるような場面に出会ったりすると、心細いものです。お子様の様子にそんな気配が感じられる折には、是非担任等(学校)にご相談下さい。児童との面談や会話を通し、児童の気持ちを受け止める努力をご家族とともに、していきたいと思っております。お子さまを見守る中で、いじめや、ネットいじめ等の情報を得た場合は、学校にご連絡ご相談をお願いいたします。